

流山の景気動向

流山商工会議所では、役員・議員・青年部員の事業所にご協力いただき、地域の景気動向を3か月ごとに調査しております。この度、みなさまからいただいた調査票をもとに、令和6年11月の結果がまとまりましたので、ご案内申し上げます。

次回調査は、令和7年2月となりますので、ご協力のほどよろしくお願いいたします。

<調査概要>

○調査対象月

令和6年11月

○調査期間

令和6年11月29日から12月12日

○調査対象

流山商工会議所会員事業所

○回答数

建設4、製造5、卸・小売10、サービス14

合計33事業所

○調査項目

全国 LOBO に準拠した項目および向こう3ヶ月の見通し

(DI 値を集計)

○付帯調査

「自社の経営課題について」

「デジタル化の状況について」

「サイバーセキュリティ対策の現状について」

❖流山の景気動向【概要】

全産業合計の業況DIは、▲9.1（前回比+1.8ポイント）。全国DIと比較すると+7.2ポイント。前回調査より若干好転の兆しは見えるものの、コスト増、価格転嫁の状況等、採算悪化に大きな変化はないが、年末商戦に期待したい。附帯調査の経営課題では人材不足・育成が17.3%と上位で、従業員DIを見ても総計24.2、建設業では75.0と深刻な状況である。デジタル化においては80%を超える企業に取り組んでいるが、そのうち40%の企業が「費用が高い」と感じており、現時点でのデジタル化のコストパフォーマンスは低いと推察される。

























<流山おおたかの森S Cの概況>

11月は気温が低下したことによる衣料品の伸長、ならびに、3週間にわたり実施したArt&Musicイベントや、イルミネーションも好評で集客が増加し、全館売上で昨対107.6%と伸長した。

<流山工業団地の概況>

団地内企業では、業種により景況に差が出ている。組合員企業が1社、破産宣告をしたため、組合の資金繰りに影響がでている。

❖流山の全産業天気図

天気図		業況		売上		採算		仕入単価		従業員		資金繰り	
		今期	先行き	今期	先行き	今期	先行き	今期	先行き	今期	先行き	今期	先行き
全産業	流												
	山	▲ 9.1	▲ 12.1	▲ 3.0	▲ 15.2	▲ 27.3	▲ 21.2	▲ 45.5	▲ 54.5	24.2	27.3	3.0	0.0
	全												
	国	▲ 16.3	▲ 14.6	▲ 1.6	▲ 4.6	▲ 16.4	▲ 13.9	▲ 63.7	▲ 51.5	22.7	21.6	▲ 12.1	▲ 11.3

凡例



特に好調
(D I ≥ 30)



好調
(30 > D I ≥ 15)



まあまあ
(15 > D I ≥ 0)



やや低調
(0 > D I ≥ ▲15)



低調
(▲15 > D I ≥ ▲30)



極めて低調
(D I < ▲30)

※D I 値（景況判断指数）について

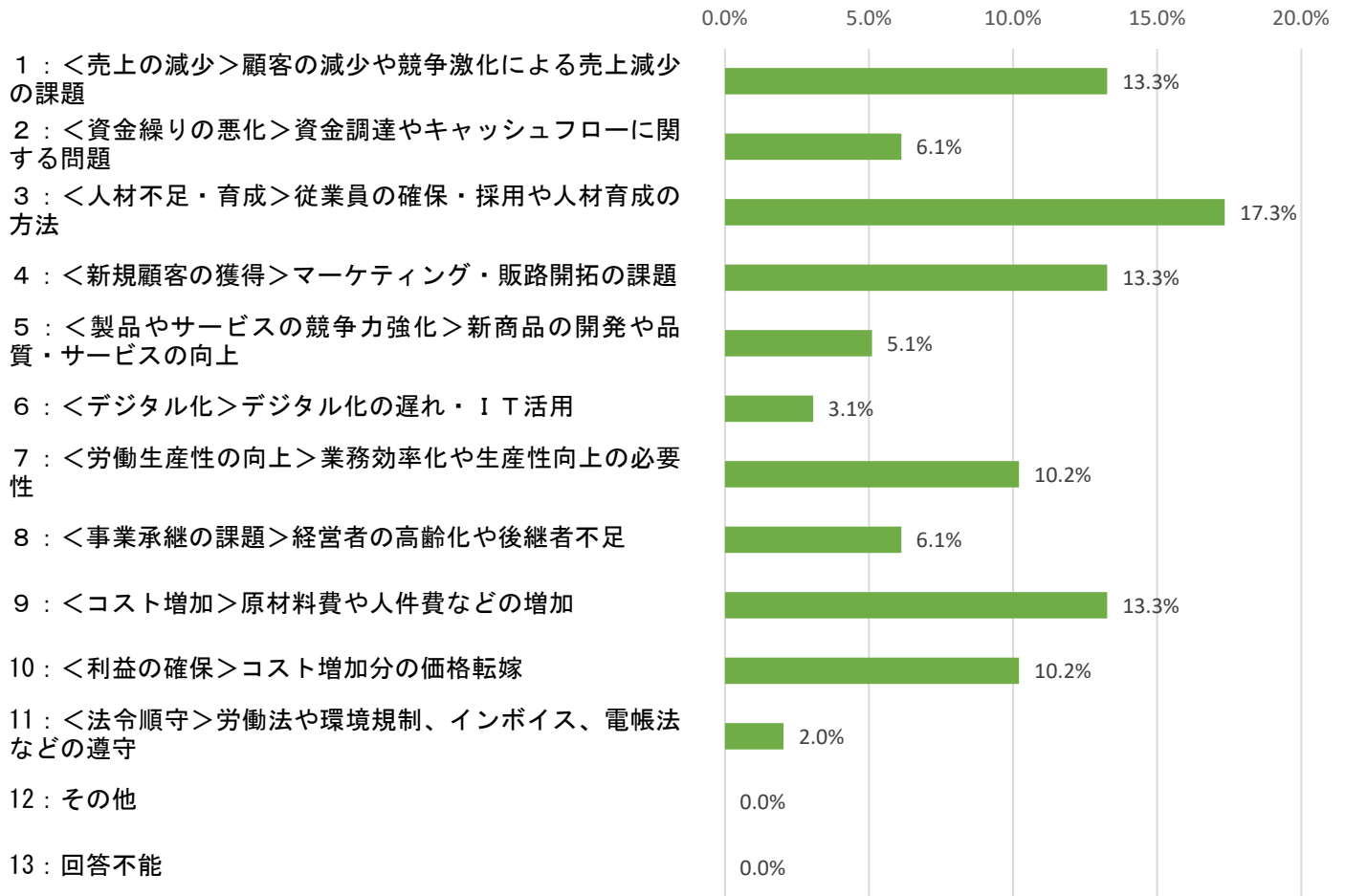
D I 値は、業況・売上・採算などの各項目についての、判断の状況を表す。ゼロを基準として、プラスの値で景気の上向き傾向を表す回答の割合が多いことを示し、マイナスの値で景気の下向き傾向を表す回答の割合が多いことを示す。

したがって、売上高などの実数値の上昇率を示すものではなく、強気・弱気などの景況感の相対的な広がりの意味する。

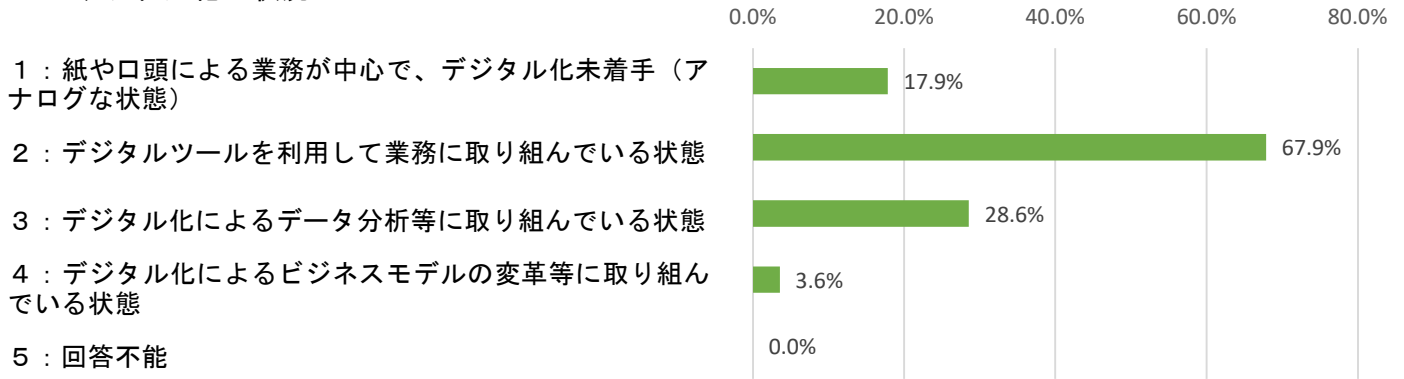
$$D I = (\text{増加・好転などの回答割合}) - (\text{減少・悪化などの回答割合})$$

❖ 付帯調査

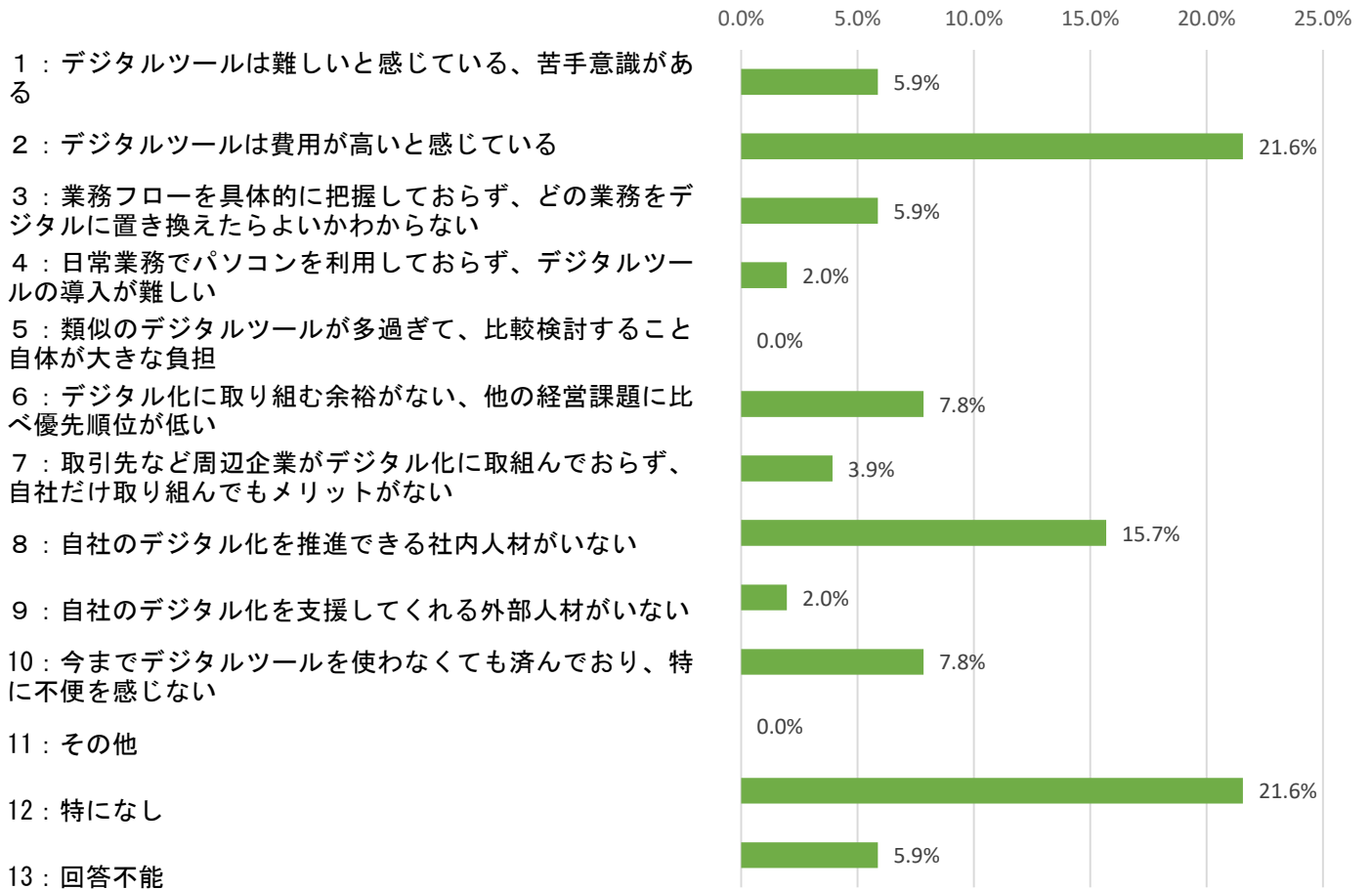
1. 経営課題



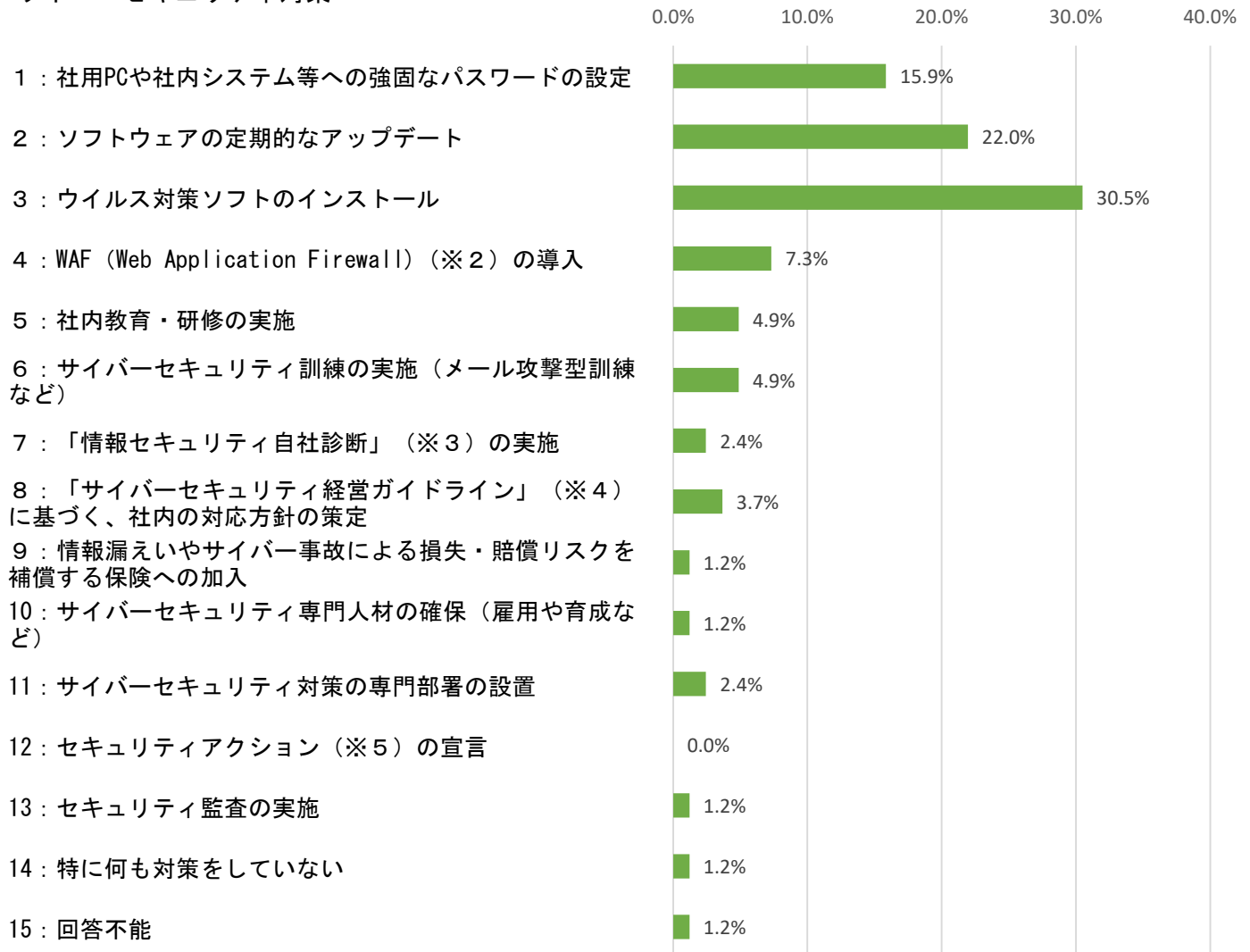
2-1. デジタル化の状況



2-2. デジタル化に取り組む際の課題・デジタル化しない理由



3. サイバーセキュリティ対策



※1: 機密情報が外部に漏れたり、マルウェア (コンピュータウイルスなど電子機器に脅威となるようなプログラム) に感染してデータが壊されたり、普段使っているサービスが急に使えなくなったりしないように、必要な対策をすること

※2: Webアプリケーションの脆弱性を悪用した攻撃から、Webサイトを保護するセキュリティ対策の一つ

※3: 独立行政法人情報処理推進機構 (IPA) が作成している、情報セキュリティ対策のレベルを数値化し、問題点を見つけるためのツール (<https://www.ipa.go.jp/security/guide/sme/5minutes.html>)

※4: 経済産業省と独立行政法人情報処理推進機構 (IPA) が策定している、経営者のリーダーシップの下でサイバーセキュリティ対策を推進するためのガイドライン (https://www.meti.go.jp/policy/netsecurity/mng_guide.html)

※5: 中小企業自らが情報セキュリティ対策に取り組むことを自己宣言する制度

【コメント欄より一部抜粋】

- ・今後、改正が見込まれる社会保険加入の要件撤廃は非常に大きな不利益現象になることを懸念している。
- ・補助金又は制度改正に対応する企業に対してフォローして頂きたい。
- ・公共工事に係る労務費単価に対してもっと強制力を持たせることができないかと思っている。
- ・夏の記録的な猛暑、秋口の暖冬で過去の季節の品ぞろえが通用しない。
- ・人手不足、求人しても応募が少なく、高齢の人が多い。
- ・材料の値上げ、卸商品の急激な値上がりによる、お客様離れが加速した。
- ・大手ECサイトは2024年問題とは逆方向の要求が加速し、当日出荷、最短到着を求められる。これだけ物流問題が報道される中、いそがない便などがあってもいいのではと感じる。
- ・売上増は値上げによるもので、出荷量は伸び悩み。ベースアップをしなければならないが、効率化以外資金を捻出する方法が見当たらない。
- ・デジタル化については費用対効果が薄いので少しレベルダウンしようと思っている。